

小松市埋蔵文化財調査だより

第10号 2000. 3. 31

小松市教育委員会 〒923-8650
埋蔵文化財調査室 石川県小松市小馬出町91番地
TEL (0761) 22-4111



はつ 初 の 発 掘 速 報 展 開 催 !

市内で行われている最近の発掘調査では、全国に発信できる貴重な発見が相次いでいます。調査成果の一部は、現地説明会や報道機関を通じて公表してきました。しかし、市民の方々が、話題の出土品を実際にじっくりと見て、その遺跡を知り、そして郷土史の新事実を学ぶ、そういった機会はほとんどなかったといえます。そこで今年度、最新の調査成果を盛り込んだ小松市初の発掘速報展「こまつ・発掘・発見!最前線ー地中の都市・もう一つの小松ー」を4月13日から6月27日にかけて小松市立博物館で開催しました。内容は、話題となった4遺跡^{やよい きよてん}をとりあげ、出土した遺物を選びすぐって展示・解説したものです。各遺跡とそのキャッチフレーズは、「弥生の拠点都市^{とし}：八日市地方遺跡^{ようかいじかた}」「短甲^{たんこう}を供えた首長墓^{そな}：八里向山F遺跡^{しゅちやうほ}」「渡来^や人^さたちの村^{むら}：額見町遺跡^{いせき}」「古代能美郷^{の み けう}に財部氏^{たからべし}：佐々木遺跡^{ささき}」というものです。そのほとんどが初公開資料ということもあって、市民の方々はもとより、県内外からは多数の考古学研究者も見学に訪れました。期間中には、月1回、計3回の講演会が開催され、調査員による展示解説や、土器を直接手にとりての学習、そして発掘現場の見学等をまじえて、遺跡・遺物に親しんでいただきました。これからも、より多くの市民の方々が埋蔵文化財^{まいぞうぶんかざい}に接し、私たちの祖先が築いた文化のすばらしさを知っていただくことができるよう、発掘調査成果の公開と、わかりやすい展示・解説など、啓蒙活動に努力してゆきたいと考えています。

平成11年度の埋蔵文化財発掘調査

佐々木遺跡の調査

所在地 小松市佐々木町地内
調査期間 平成11年4月8日～10月26日
調査面積 1,600㎡
原因 一般国道8号小松バイパス建設工事
 ・県営かんがい排水事業

遺跡の概要 佐々木遺跡は、梯川中流の左岸、標高約4mの自然堤防上に立地する集落遺跡です。これまでの調査で、8世紀前半から中頃の掘立柱建物（掘立式の平地住居）群および倉庫跡と、この建物群を囲むように位置する柵列（板塀）・溝などがみつかっています。

中でも、建物群の北西隅から北へつづく溝からは多量の土器が出土し、この中には「野身郷」・「財部寺」と書かれた墨書土器（墨書きされた土器）も含まれていました。

その他に、大型の横板組井戸や、製鉄鍛冶炉と考えられる遺溝も見つかっています。

また、丸木舟を転用して井戸枠とした井戸も見つかり、これらのものから判断すると、佐々木遺跡は、一般

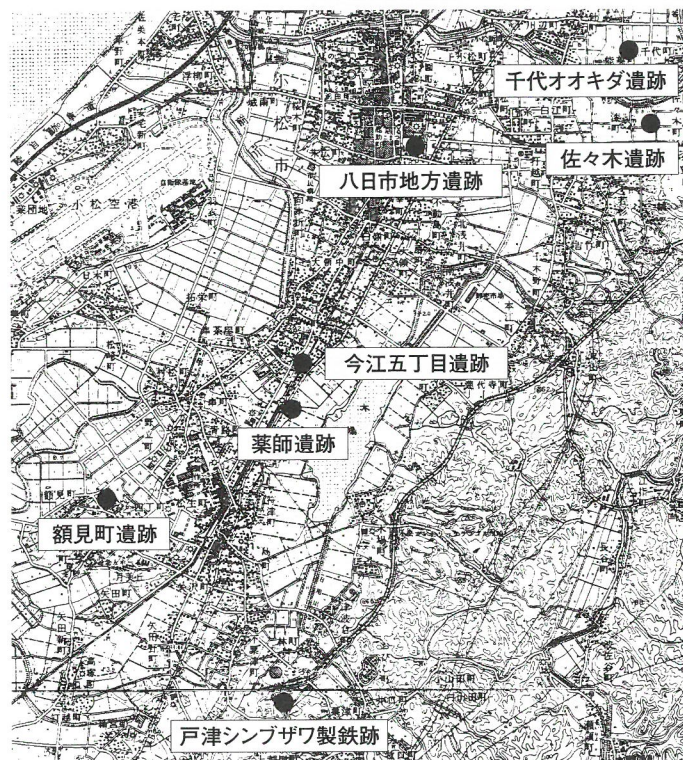


墨書土器「野身郷」

集落とは異なった性格をもつ遺跡で、有力者の居館等がここに存在していたと考えられます。



大型の横板組井戸



平成11年度小松市内埋蔵文化財発掘調査位置図 (S=1/100,000)

千代オオキダ遺跡の調査

所在地 小松市千代町地内
調査期間 平成11年8月5日～継続中
調査面積 2,500㎡
原因 一般国道8号小松バイパス建設工事

遺跡の概要 梯川周辺は、古くから人々の生活が営まれてきており、数多くの集落遺跡が存在しています。千代オオキダ遺跡もその中のひとつで、梯川右岸の微高地上に立地しています。

出土遺物から弥生時代末～古墳時代初頭から中世後期（15世紀代）にかけての広範囲の時期に渡る人々の生活の跡があったことがわかっています。

調査の概要 今年度の調査では、掘立柱建物、柵、井戸、溝、土坑などがみつかり、おもに中世の集落の景観を知る手掛かりとなりました。

また、弥生時代末～古墳時代初頭の方形周溝墓や、幅10m以上にもおよぶ大溝も確認されています。特にその大溝からは、多量の土器が出土しており、何らかの意図をもって土器を廃棄したものと思われる。

よう か いち じ か た い せ き

八日市地方遺跡の調査

所 在 地 小松市日の出町地内

調 査 期 間 平成11年 4月13日～7月 1日

調 査 面 積 7 0 0 m²

原 因 小松駅東土地区画整理事業

遺跡の概要 八日市地方遺跡はJR小松駅を中心とする市街地の東側に位置し、約78,000m²の範囲に広がる弥生時代の集落跡です。平成5年度より発掘調査が行われており、これまでに井戸跡・住居跡・方形周溝墓・自然河川跡、そして集落をとり囲むように走る環濠跡などが見つかっています。これらの調査成果より、八日市地方遺跡は居住区、工房域、墓域をもつ北陸における弥生時代中期の中核的な集落であると考えられています。

調査の概要 今年度は、道路工事にかかる部分の27地区、28地区(2)・(3)の調査を行いました。27地区は自然河川跡の続きの調査を行い、右岸部分の立ち上がりを確認しました。28地区(2)はほとんど攪乱を受けており、28地区(3)では環濠の続きと方形周溝墓、土坑、柱穴等が見つかっています。

やく し い せ き

薬師遺跡の調査

所 在 地 小松市矢崎町地内

調 査 期 間 平成11年 9月27日～10月10日

平成11年11月 1日～11月24日

調 査 面 積 6 0 0 m²

原 因 道路改良工事（市道建設）

遺跡の概要 薬師遺跡は、木場湯を臨む台地上に立地している遺跡です。この遺跡内で道路改良工事が実施されていることがわかったため、今回、工事工程と調整しながら発掘調査を行いました。

この調査により、多くの柱穴の他に堅穴住居跡が4軒、掘立柱建物跡が3棟見つかりました。

堅穴住居跡は、4軒ともカマドは確認できませんでしたが、壁際に支柱穴をもつもので、出土した土器などから7世紀後葉から8世紀前葉の時期に建てられたものと考えられます。

堅穴住居と掘立柱建物は、ほとんど重なることなく整然と並んでおり、その当時、この台地全体に展開する手工業生産との関わりの深い、計画的な村落のひとつと考えられる遺跡です。

いま え ご ち ょ う め い せ き

今江五丁目遺跡の調査

所 在 地 小松市今江町5丁目地内

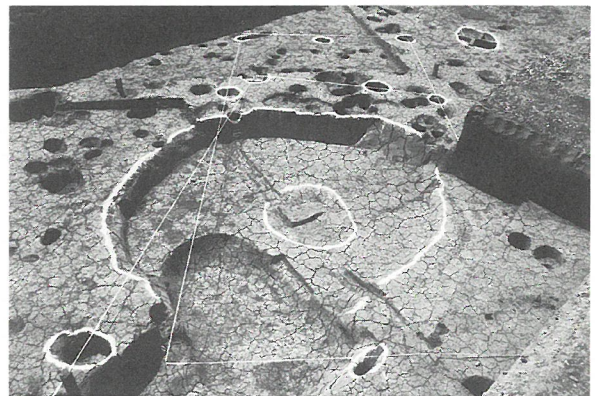
調 査 期 間 平成11年 6月23日～8月 9日

調 査 面 積 4 0 0 m²

原 因 宅地造成

遺跡の概要 今江五丁目遺跡は、木場湯を臨む台地上に位置しています。遺跡は縄文時代（草創期？前期・中期・後期・晩期）と古代（7世紀～9世紀）とにわかれており、時期を隔てて人々がこの地に生活をしていました。

今回の調査で、縄文時代の遺構では中期の堅穴住居跡が見つかっています。また、石のおもりも数多く出土しました。古代の遺構では8世紀初頭以前と思われる堅穴住居跡が見つかっていますが、住居廃絶後に削平を受けており、詳細は不明です。



縄文時代の堅穴住居跡

と づ

せいてつあと

戸津シンブザワ製鉄跡の調査

所 在 地 小松市戸津町・林町地内

調 査 期 間 平成11年10月25日～12年 1月31日

調 査 面 積 4 0 0 m²

原 因 製鉄炉本体及び排滓場の崩壊・流出による国庫補助事業

遺跡の概要 戸津シンブザワ製鉄跡は、戸津町・林町の西側の低丘陵地にあります。以前の土採取事業で一部削平されたままの状態であったのが、今回、製鉄炉跡の崩壊・流出が懸念されたため、国庫補助事業により現状を記録保存することを目的として調査を行いました。確認された遺構は、円筒形の炉跡（堅型炉）1基・排滓場・木炭を大量に含む土坑数基等です。周辺の林遺跡等の時期から推測して概ね10世紀前半のものと思われます。

ぬかみ まち い せき

額見町遺跡の調査

所在地 小松市額見町地内

調査期間 平成11年5月10日～継続中

調査面積 7,400㎡

原因 土地区画整理事業

遺跡の概要 額見町遺跡は月津台地の西端に突き出た台地上に営まれた、大規模な集落遺跡です。

遺跡の主な時期は7世紀初頭から8世紀後半にかけてで、古代の郷(額田郷)との関連が深い集落だったと考えられています。



F区のオンドル状遺構をもつ竪穴住居跡

また、大陸に起源があると予想されるオンドル状遺構(L字型の煙道をもつカマド)をもつ竪穴住居も見つかっています。このタイプの竪穴住居は発見例が少なく、また額見町遺跡に渡来人が移り住んで生活していたことを示すこと

とからも、非常に重要な発見でした。

調査の概要 今年度はF・G区の調査を行い、F区では、オンドル状遺構をもつ竪穴住居を新たに1軒確認しました。また、G区では9世紀末から12世紀頃のものと思われる道の跡も見つかりました。これは主に集落の縁辺を走っていたもので、古代の道を考える上で貴重な資料となりました。



G区の道の跡

平成11年度 埋蔵文化財調査事業一覧

	遺 跡 名	所在地	調 査 期 間	原 因	時 代	面 積
発 掘 調 査	佐々木遺跡	佐々木町	4月8日～10月26日	小松バイパス・かんがい排水 (国・県)	奈良	1,600㎡
	千代オオキダ遺跡	千代町	8月5日～継続中	小松バイパス建設工事 (国)	弥生～古墳・中世	2,500㎡
	八日市地方遺跡	日の出町	4月13日～7月1日	土地区画整理事業 (市)	弥生	700㎡
	薬師遺跡	矢崎町	9月27日～10月10日 11月1日～11月24日	道路改良工事 (市)	奈良	600㎡
	今江五丁目遺跡	今江町	6月23日～8月9日	宅地造成 (民)	縄文・古代	400㎡
	戸津シンブザワ製鉄跡	戸津町・林町	10月25日～1月31日	国庫補助事業 (国)	平安	400㎡
	額見町遺跡	額見町	5月10日～継続中	土地区画整理事業 (市)	奈良・平安	7,400㎡
	吉竹遺跡	吉竹町	4月6日～4月27日	土地区画整理事業 (民)	弥生・古墳	346㎡
分 布 調 査	開 発 行 為 名 称	所在地	開発面積	調 査 日	備 考	
	ふるさと農道緊急整備事業 (市)	那谷町	3,200㎡	4月5日	埋蔵文化財は確認されず	
	小松能美都市計画道路事業 (市)	日の出町他	10,000㎡	6月11日	埋蔵文化財は確認されず	
	圃場整備事業 (市)	麦口町	13.6ha	7月2日 7月5～6日	一部に縄文と中世の遺跡を確認、今後の協議にて対応を計る	

(市)は市営事業、(民)は民間事業を示す。

埋蔵文化財調査室 移転のお知らせ

平成12年4月1日より、埋蔵文化財調査室の移転に伴い、住所が下記のとおりに変更となります。

【新住所】〒923-0801 石川県小松市園町ホ62番地

T E L (0761) 24-8132

F A X (0761) 20-1194

今後とも、新しい埋蔵文化財調査室をよろしくお願い致します。